

## 1 はじめに

宮地小学校の福祉教育の目標は、「共に生きる喜びや人々とふれあう喜びを通して人を大切にし、自分にできることを見つけて実践する」です。自他のよさや違いを認め合い、感謝の気持ちを大切に、進んで自分にできることを考え実践していくことをねらいとしています。特に、4年生では、福祉施設を訪問し高齢者の方々との交流を行っています。交流のめあては、「高齢者の方のことをよく理解し、互いに笑顔になれる交流をしよう」です。相手の立場にたち、どう関わるとよいかを考えて思いやりをもった接し方を意識してきました。

## 2 活動事例 宮地小学校4年福祉の実践

### (1) 認知症講話

サンビレッジの方に来ていただき、認知症とはどんな病気なのかをスライドを使って説明してもらいました。そして、認知症の方と接する時、どんなことに気をつけるとよいか、ロールプレイングを通して考えました。また、「だまし絵」を見る活動を通して、一人一人見え方が違うことを体験しました。それらの経験から「相手の立場に立って考えること」や「どんな人にも優しく笑顔で接すること」が大切なのだと言いました。



### (2) 高齢者疑似体験

社会福祉協議会の方に来ていただき、器具をつけての階段の昇降や手袋をつけて折り紙を折る活動を通して、高齢者の方の身体の状態を体験しました。腰が曲がり視界も悪いため階段が歩きにくい、指先の感覚が鈍く細かいところが折りづらいなどの体験から、高齢者の方が体を動かすことの大変さを実感しました。



# 池田町立 福祉活動 宮地小学校

## ～福祉協力校の活動紹介～

### (3) 「サンビレッジ宮路」訪問

#### 【活動内容】

- ① 歌
- ② 自己紹介
- ③ 利用者の方との交流ゲーム

福祉施設を複数回訪問しました。子ども達が、高齢者の方と一緒に楽しめるように工夫して考えたゲームを行いました。

高齢者の方と接する時は、かがんで視線を合わせることや、はきはきと大きな声で話すことなどを意識しました。初めの訪問時に比べ、回数を重ねるごとに高齢者の方の気持ちを考えて行動ができるようになりました。「ええ子ばかりやなあ」「また来てね」と言っていたできました。



## 3 終わりに

高齢者疑似体験や認知症講話を通して、子ども達は、高齢者や認知症の方の実態を知り、どのように接するとよいかを考えてきました。その中で、自他のよさや違いを認め、相手の気持ちを考えることが大切だと学びました。「サンビレッジ宮路」の利用者の方との交流では、相手の気持ちを考えた接し方ができ、事前学習で学んだことを生かすことができました。これからは高齢者の方の気持ちを考え、笑顔でふれ合う交流を通して、共に生き、ふれ合う喜びを体験していきたいと思えます。ありがとうございました。